

ETFは世界中で約5,500本が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されており、その規模は2.9兆ドル（約360兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生**しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流入の状況をまとめ、それらから見てくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。

**ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

2015年12月のETF資金流入

2015年12月の世界のETFの資金流入は520億ドル（約6兆円）の流入となりました。

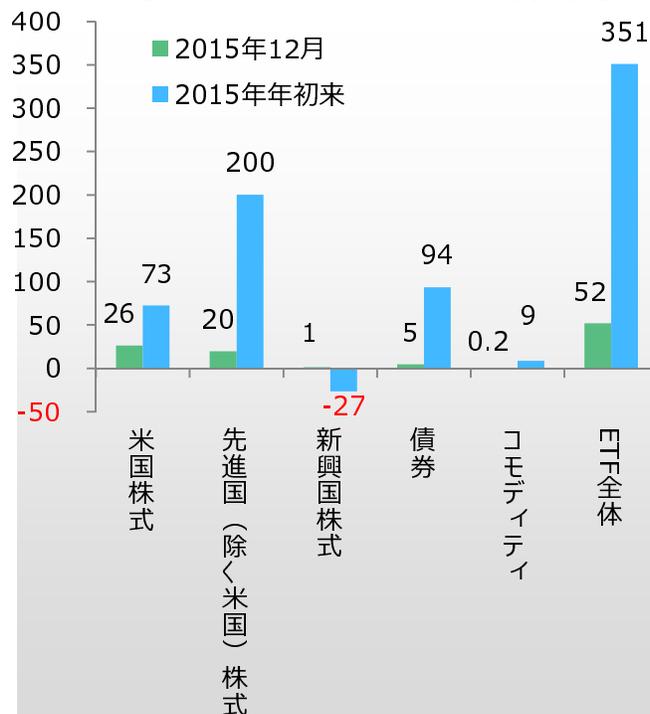
また、2015年年間では、3,509億ドル（約42兆円）の流入となり、昨年の流入額（3,306億ドル≒約40兆円）を上回り、再び過去最高を記録しました。

2015年は米国利上げ観測から米国株ETFへの流入が鈍る中、流入を牽引したのは金融緩和が継続する欧州株や日本株等の先進国株ETF（除く米国）と債券ETFでした。

先進国株ETF（除く米国）の12月の流入額は198億ドル（約2兆円）、年間では2,001億ドル（約24兆円）と2013年（1,100億ドル）を上回り、過去最高を記録しました。

債券ETFには、12月月間で45億ドル（約5,400億円）、年間では935億ドル（約11兆円）が流入しました。金利引き上げによる影響は懸念されたものの、8月以降の株式市場急落を受け、結果的には前年の858億ドル（約10兆円）を上回る流入額となりました。

【世界のETFの資金流入（10億ドル）】



出所：BLACKROCK GLOBAL ETP LANDSCAPE December 2015

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。

ETFから見る世界の投資家動向

図1：ETP市場の上場市場別残高シェア
(2015年末)

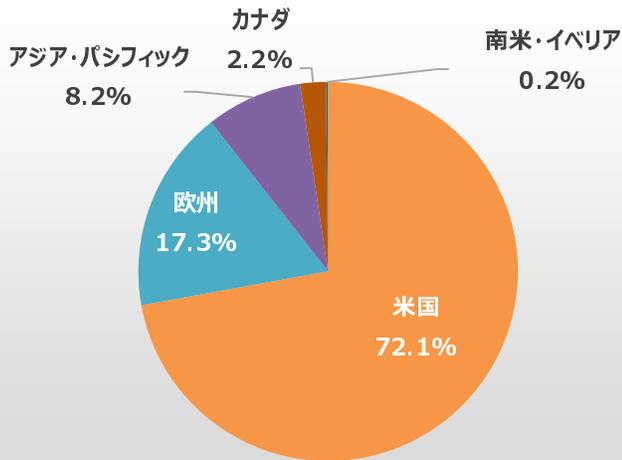
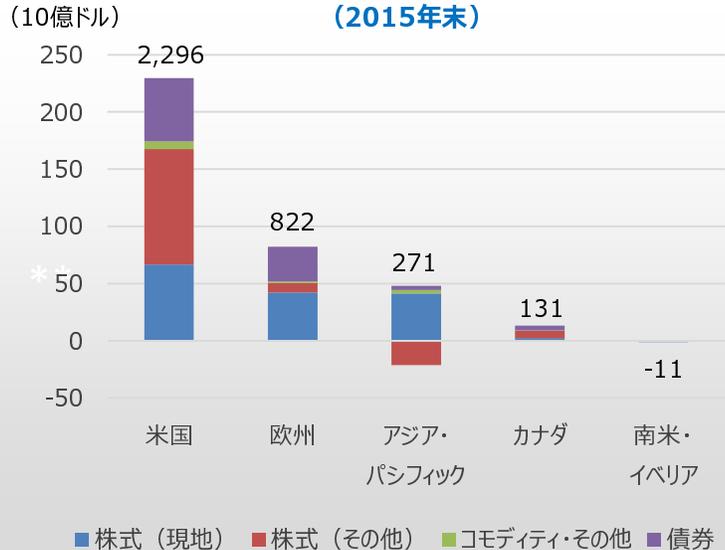


図2：世界のETP市場の地域別資金フロー
(2015年末)



出所：「BlackRock GLOBAL ETP LANDSCAPE December 2015」

2015年末現在、世界のETP（上場金融商品）市場は、銘柄数5,449本、総資産残高2.9兆ドル（約360兆円）となっていますが、今回は世界のETP市場の年間資金フローを地域ごとに振り返ってみたいと思います。

- 米国は、2,296億ドル（約28兆円）の流入となりました。米国株ETFへの流入が鈍る中、欧州、日本等の先進国株に資金が集まり、過去最高を記録しました（1,009億ドル≒約12兆円）。また、ドル高基調を背景に為替の影響を軽減できる為替ヘッジつきETFへの流入が増加しました。米国では為替動向を見ながら米国外の株投資を実践する手段として、為替ヘッジつき/ヘッジなしタイプのETFの活用する動きが目立ちました。
- 欧州は、株式、債券全般的に資金が入り、流入額は822億ドル（約10兆円）に達し、過去最高を更新。足元ETF市場が急成長する欧州において、より積極的にETFを活用している状況を垣間見ることができます。
- アジア・パシフィックは、271億ドル（約3兆円）の流入となりました。中国株は大幅流出（271億ドル≒約3兆円）したものの、過去最高となった日本株への流入（372億ドル≒約4兆円）が、中国株による流出を上回る形となりました。
- カナダは、株式、債券全般的に流入した結果、131億ドル（約1兆円）の流入となりました。株式については、スマートベータ型ETFに注目が集まり、28億ドル（約3,400億円）が流入しました。
- 南米・イベリアは、メキシコ株ETFからの大幅流出が響き、11億ドル（約1,342億円）の流出となりました。

ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。優先株は金利上昇等により価値が減少する場合があります。また配当の支払いは保証されていません。満期到来、償還、繰上げ償還、転換などによってファンドの利回りの低下を招く場合があります。特定の地域や分野に特化した投資では、一般に変動が大きくなります。不動産投資信託（REIT）への投資は経済状況の変化や信用リスク、金利変動の影響を受けます。

手数料、費用等について

【売買時の手数料】 当ETFを売買する際の手数料は取扱い金融商品取引業者（証券会社）等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】 当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただきます。保有時の費用の率（総経費率）は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱い金融商品取引業者（証券会社）にてご確認下さい。またiシェアーズのウェブサイト（<http://www.blackrock.com/jp/ishares>）にて当ETFに関する情報を開示しております。

iShares®
by BLACKROCK®

ブラックロック・ジャパン株式会社

iシェアーズ事業部 TEL 03-6703-4110（部代表） www.blackrock.com/jp/ishares
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第375号
加入協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。